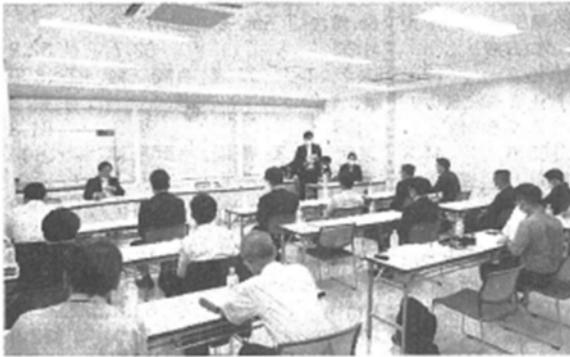


新部会長に遠藤氏

広島県鉄構工業会

青年部会

広島県鉄構工業会青年部会は10日、広島市で通常総会を開催、22人が参加した。議事では役員改選が行われ、



総会の様子

遠藤健太・遠藤工業専務の新部会長就任が承認された。

冒頭、広島県鉄構工業会の山本泰徳理事長（スマントス社長）が、「青年部会には鉄骨の技術者だけにとらわれず、経理担当者など、

各会社のさまざまな部署の人に参加してもらいたい。活動の中で幅広い知識を得ながら成長し、若い力で業界を支えてほしい」と祝辞を述べた。

どが早いサイクルで進化しているが、若い人材確保にもつなげていきたい」とコメントした。

続いて、川野法幸部会長（境谷工業工場長）は「3年ぶりに総会を開け、うれしく思う。活動は制約を受けているが、昨年は青年部会が主体となって組合のウェブサイトを刷新した。青年部会のコンテンツも設けており、これから充実させていきたい」とあいさつした。今年度は、鉄骨製作や溶接ヒューム対策に関する講習会などを開き、次世代を担う人材育成に力を入れる。若手人材の確保に向け、組合のウェブサイトやSNSを活用した積極的な情報発信も行う。

遠藤新部会長は「業界では設備やCADな